

一般質問

コンビナート周辺 地域の地震・津波対策

(自民みらい/四日市市選出)

石田 成生 議員



問

四日市石油化学コンビナートは住宅や学校などと近接し、臨海部の軟弱地盤に可燃性危険物を集積しているため、災害が発生しやすく、大きな被害になりやすいといえます。想定される巨大地震に備え「石油コンビナート等防災計画」は地震・津波対策を盛り込んだ総合計画にすべきです。また、行政にはコンビナート企業の災害対策を周辺住民に周知する役割があると考えますがいかがですか。

答

県内コンビナート企業への調査結果によると、一定規模以上の危険物施設などは耐震基準を満たすものの、多くの事業所で津波対策が十分に取られておらず、事業者へ対策要請などを行いました。今後も関係機関や事業者と協議を行いながら、津波対策に重点を置いて見直しを検討していくとともに、引き続き住民への積極的な情報提供に努めます。

その他の質問事項
○産業振興 ほか



石油コンビナートにおける防災訓練

避難所の 適正配置への支援

(新政みえ/亀山市選出)

長田 隆尚 議員



問

「三重県緊急地震対策行動計画」では、津波からの避難に適した場所の確保が示されましたが、急傾斜崩落危険箇所にある避難所や、地震や大雨による道路不通などで二次避難場所への移動が難しい避難所についても安全な場所への移転などが必要ですか。

答

これら箇所の調査や地域の実情を踏まえた避難所の適正配置に関する支援の進め方について伺います。
現在実施中の県の地震被害想定において、急傾斜崩壊危険区域や土石流氾濫域などにおける避難所の適正配置についての判断指標の示し方について検討しています。また、市町が地震による急傾斜地の崩落など危険箇所における避難計画などを策定する場合は、計画段階から助言などの必要な支援をしていきます。

その他の質問事項
○総合的な河川管理 ほか



私学振興

(自民みらい/いなべ市・員弁郡選出)

水谷 隆 議員



問

私立学校は、建学の精神に基づいたさまざまな特色ある教育活動を提供し、公立学校では求められない幅広く奥深い学びを提供しています。人口減少に伴う入学者数の減少が続けば経営が成り立たなくなりそうです。

答

私学振興策の一つとして高等学校の公立と私立の募集定員比率を、現在の8対2から7対3にしてはいかがでしょうか。
公私の募集定員については「三重県公私立高等学校協議会」で議論されており、今後も引き続き県民の理解を得られるような合理的な募集定員案を協議していきます。なお、今後も児童生徒数の減少が見込まれることから、今後の募集定員の在り方に関する新たな協議の場の設置について教育委員会と協議しており、その場で論点や方向性を整理していきたいと考えます。

その他の質問事項
○ものづくり中小企業の振興 ほか



農福連携と 地域の活性化

(新政みえ/熊野市・南牟婁郡選出)

藤根 正典 議員



問

農福連携は、障がい者が農業労働に従事して賃金を得るなど、多様な働き方の展開を目指すことが目的のこのですが、障がい者の雇用確保や農家の担い手確保などの連携だけではなく、障がい者と地域の関係を深め、第一次産業活性化にもつながる可能性のある取り組みと考えます。農福連携を過疎地域活性化につなげていくことについて、どのように考えますか。

答

農業に参入した福祉事業所では、耕作放棄地の再生や農産物加工、直売所開設などに挑戦しているところもあり、農福連携は一次産業や過疎地域の活性化策になる可能性があります。今後、農業技術指導の体系化や農作業のユニバーサル化などによる障がい者雇用の拡大、農作業の斡旋や6次産業化などによる経営発展を支援していきます。

その他の質問事項
○紀伊半島大水害からの復旧状況 ほか



福祉事業所での野菜出荷作業